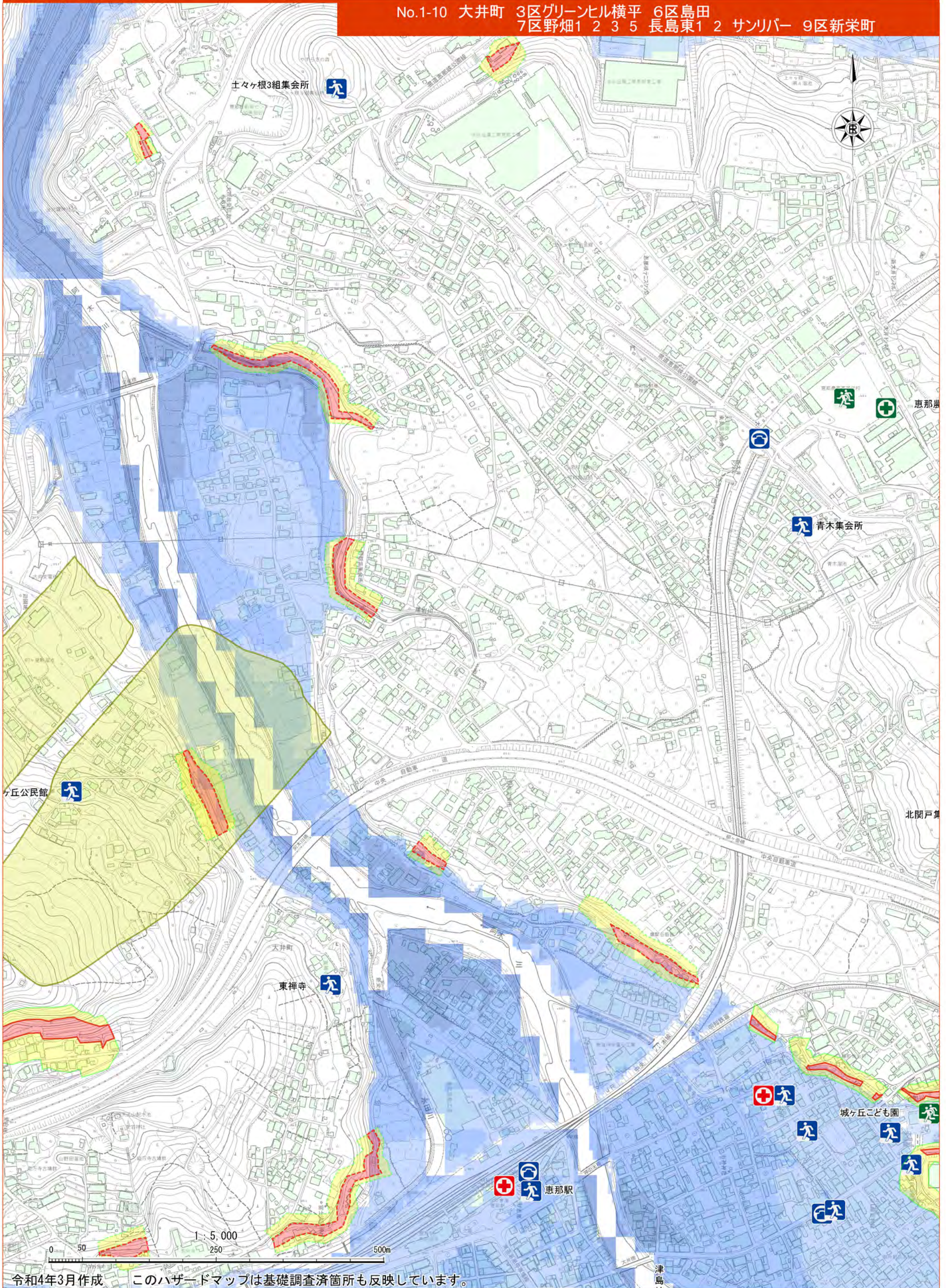


拡大図

No.1-10 大井町 3区グリーンヒル横平 6区島田
7区野畑1 2 3 5 長島東1 2 サンパー 9区新栄町



令和4年3月作成

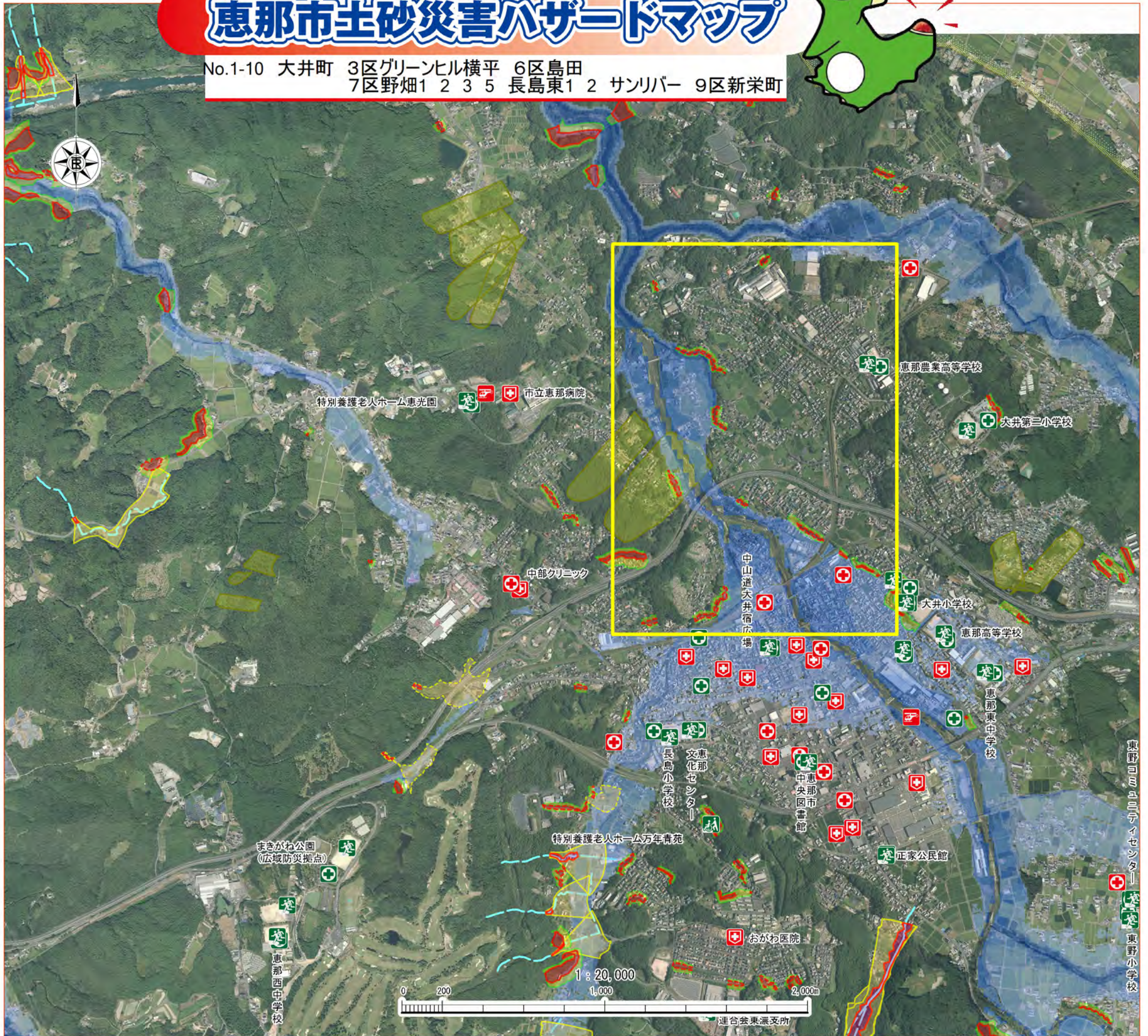
このハザードマップは基礎調査済箇所も反映しています。

津島

恵那市土砂災害ハザードマップ



No.1-10 大井町 3区グリーンヒル横平 6区島田
7区野畑1 2 3 5 長島東1 2 サンリバー 9区新栄町

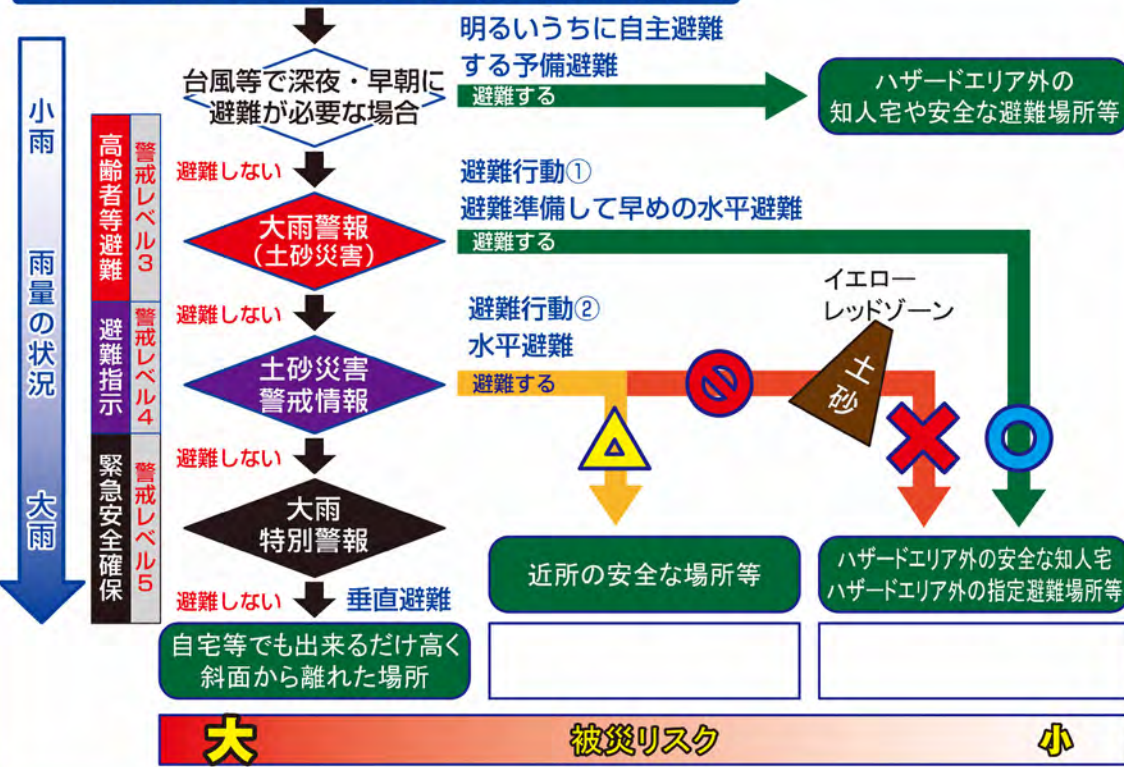


令和2年11月撮影

命を守る避難行動のタイミング【土砂災害】

次のフローを参考に、早めの避難に心がけましょう。

ハザードマップでレッド・イエロー内にお住いの皆さん



避難行動とは

従来の避難行動は、避難情報の発令時に、公的な施設へ避難することが一般的でしたが、これからは避難所と呼称されてきた場所へ移動することのみでなく、次の全ての行動も避難行動として考えてください。

- ・建物内の安全な場所での待機 (建物の2階以上、山側から離れた部屋等)
- ・自宅等から移動して安全な場所へ移動 (一時避難所、親戚や友人の家等)
- ・指定緊急避難場所への移動

自主避難

近年、集中豪雨や局地的大雨のように、突発的な異常気象の場合には、市からの避難情報が間に合わないケースもあります。その際には、身の危険を感じたら安全な場所にいる家族や知人の家、一時避難所などへ自主的に避難しましょう。

生命を守る最低限の行動

風水害の場合は、避難することがすでに危険となる場合もあります。そういった場合は安全の確保を第一に考えます。屋外の状況や避難情報に留意し、避難所等へ避難するか、屋内の比較的安全な場所 (2階以上で山側から離れた部屋等) にとどまるなど、命を守るための判断・行動をとってください。

凡例

- ・土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)
 - 土石流 (Red)
 - 急傾斜地 (Red)
 - ・土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)
 - 土石流 (Yellow)
 - 急傾斜地 (Yellow)
 - 地すべり (Yellow)
 - ・土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン・基礎調査結果)
 - 土石流 (Red with dots)
 - 急傾斜地 (Red with dots)
 - ・土砂災害警戒区域 (イエローゾーン・基礎調査結果)
 - 土石流 (Yellow with dots)
 - 急傾斜地 (Yellow with dots)
 - ・浸水想定区域
 - 浸水深 0.5m 未満 (Light Blue)
 - 浸水深 0.5 ~ 3.0m 未満 (Medium Blue)
 - 浸水深 3.0 ~ 5.0m 未満 (Dark Blue)
 - 浸水深 5.0m 以上 (Darkest Blue)
 - ・指定緊急避難場所 (Green with person icon)
 - ・福祉避難所 (Green with person icon)
 - ・一時避難場所 (Blue with person icon)
 - ・防災倉庫 (Green with plus icon)
 - ・ヘリポート (Red with helicopter icon)
 - ・病院診療所 (Red with cross icon)
 - ・歯科 (Red with cross icon)
 - ・公衆電話 (Blue with phone icon)
- 地域で検討された避難経路
- 避難行動①の避難経路 (Green arrow)
 - 避難行動②の避難経路 (Yellow arrow)